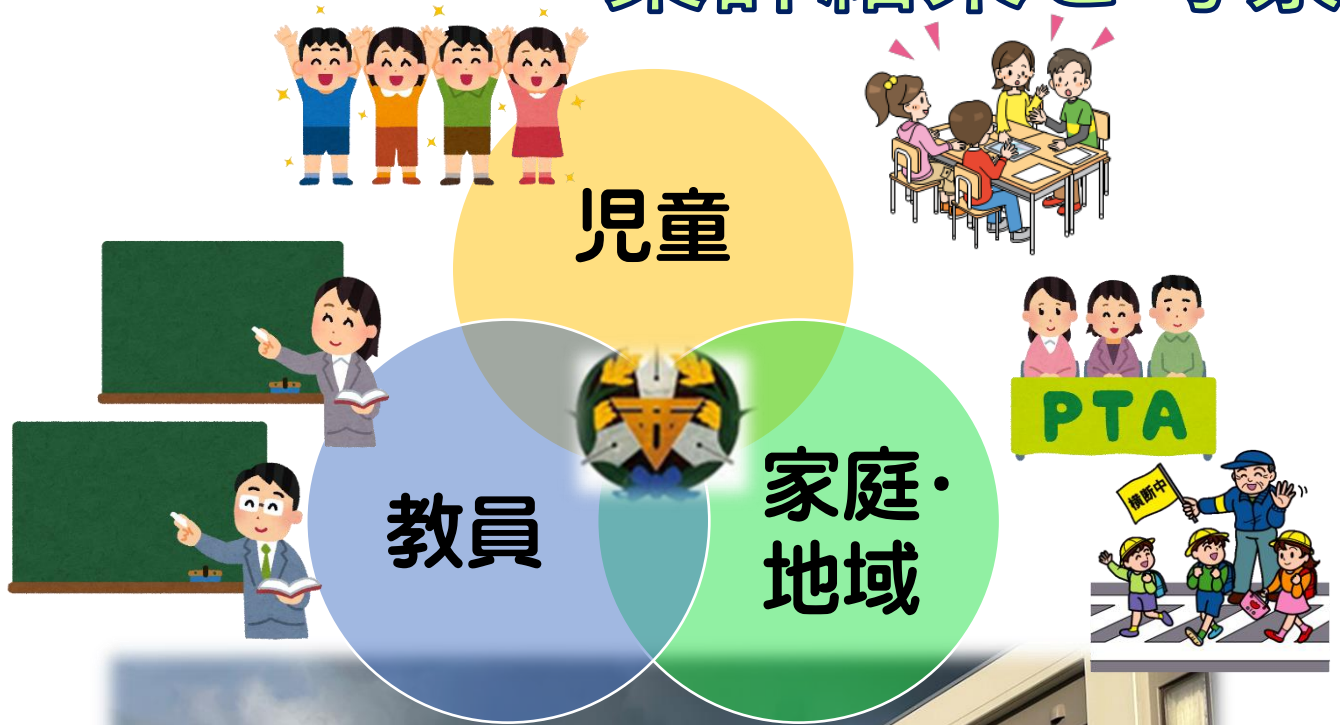


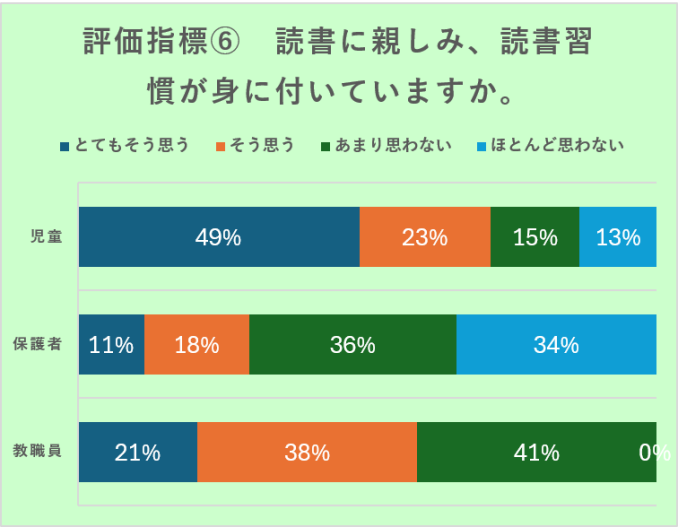
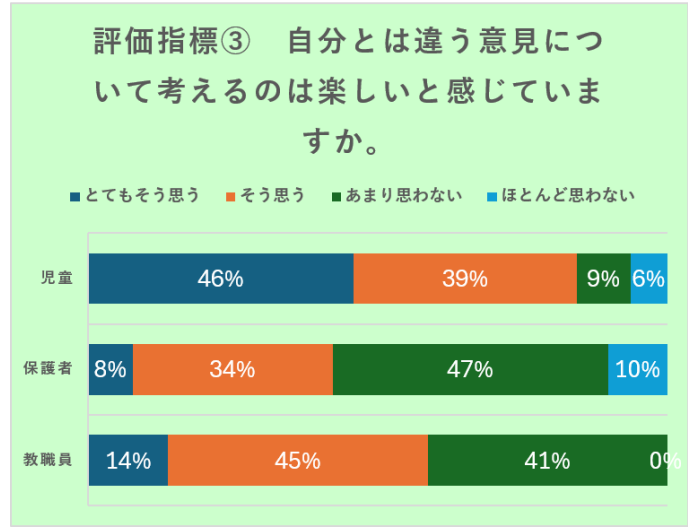
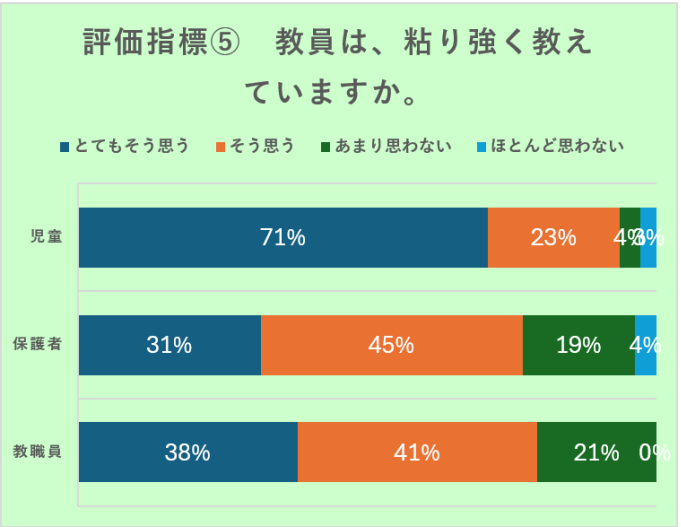
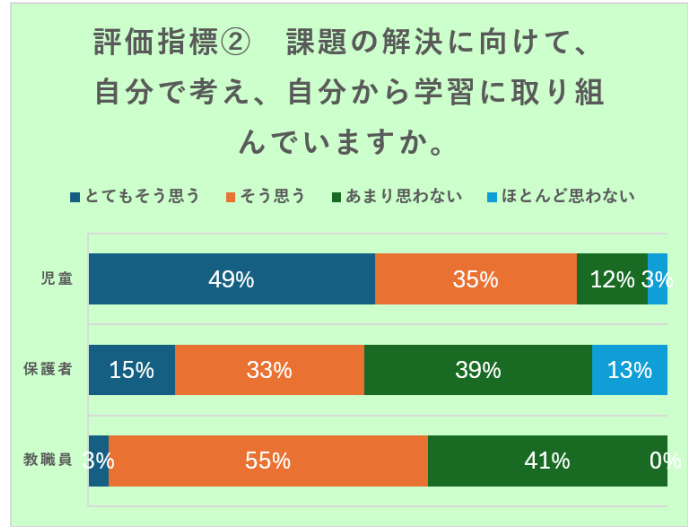
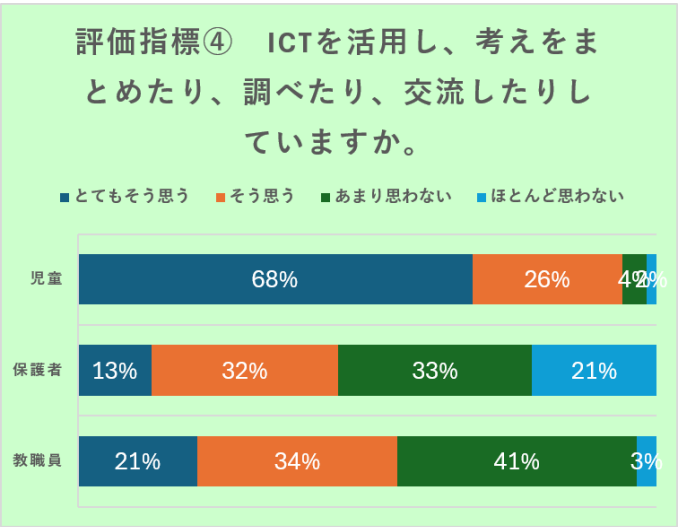
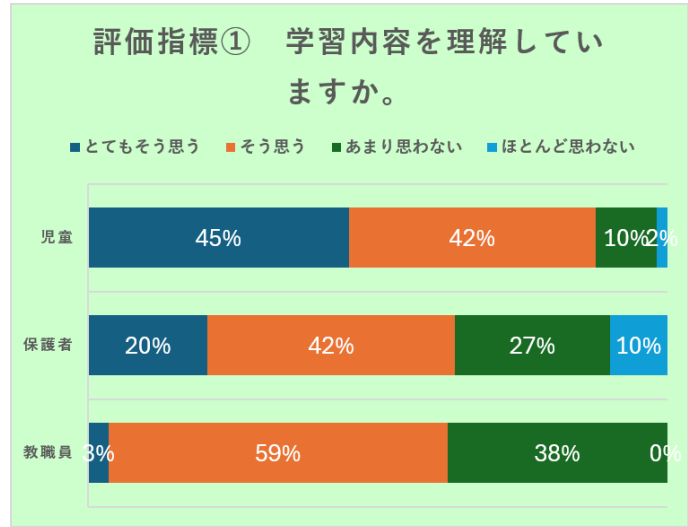
令和 8 年度 前期 保護者アンケート 集計結果と考察



旭川市立永山西小学校

令和 8 年 9 月 4 日

重点目標 1 『目的や条件を理解し、深く考える力の育成』に関する結果



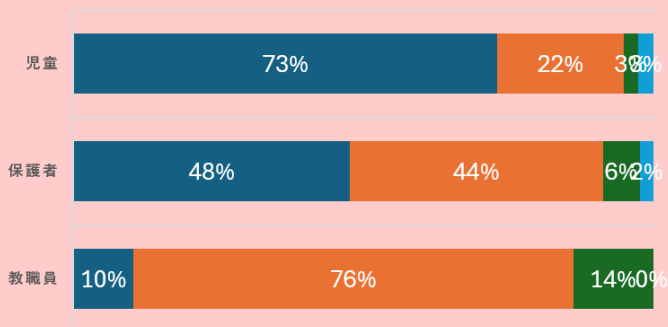
【考察】 児童は肯定的な回答の割合が高く、学習に対して主体的に取り組んでいると捉えていることが分かる結果となりました（指標①～⑤にて肯定的回答が80%以上）。「日常の授業改善」「個に応じた指導」「学習規律の徹底」などの成果だと考えられます。今後も継続していきます。

指標⑥「読書習慣」に関するアンケートでは「あまり・ほとんど思わない」と回答したご家庭の割合が70%となっています。学校では、週2回の昼読書の実施や余白時間の読書の推進、図書館見守り隊の皆様による読み聞かせなどを行っています。豊かな語彙の獲得と定着は、表現力を広げ思考力を養う基礎となります。子どもたちの読書習慣がさらに定着するよう、ご家庭でもご協力をお願いします。

重点目標2『自分を律しつつ、他者と共に協調し、思いやる心の育成』に関する結果

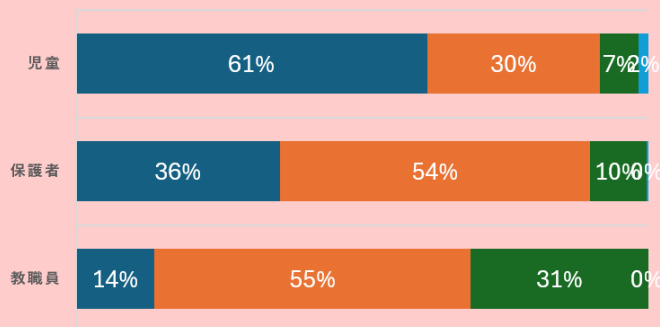
評価指標① 友達によさを認め、仲よくしていますか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■ほとんど思わない



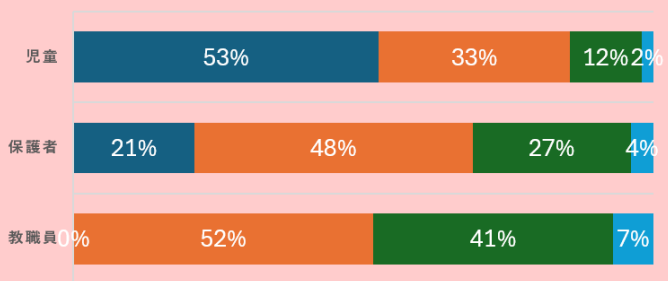
評価指標④ 自他にやさしくしていますか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■ほとんど思わない



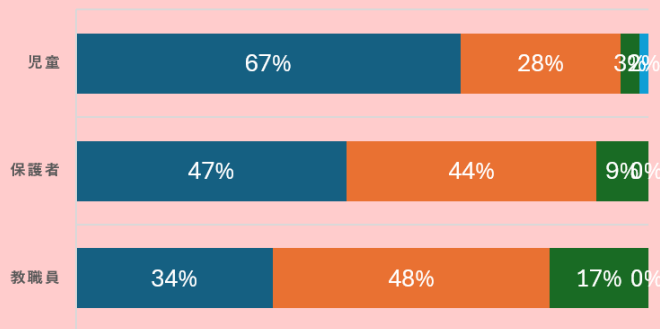
評価指標② 時と場に応じた挨拶や正しい言葉づかいができていますか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■ほとんど思わない



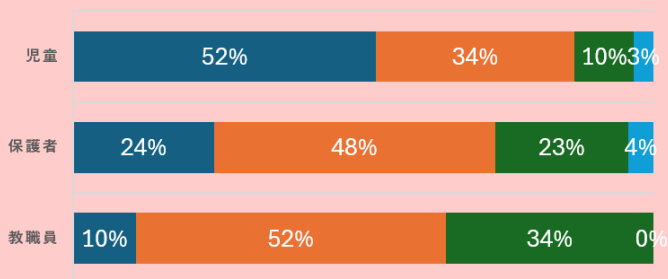
評価指標⑤ 教員は、児童のよいところをすすんで認めていますか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■ほとんど思わない



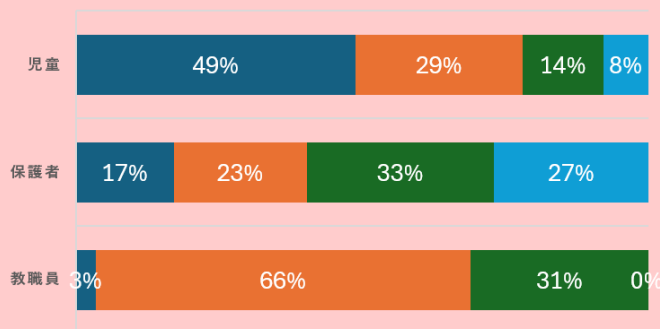
評価指標③ 進んで仲間と関わり、自分で考えを深めたり、広げたりしていますか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■ほとんど思わない



評価指標⑥ 地域や町内会の活動に進んで参加していますか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■ほとんど思わない

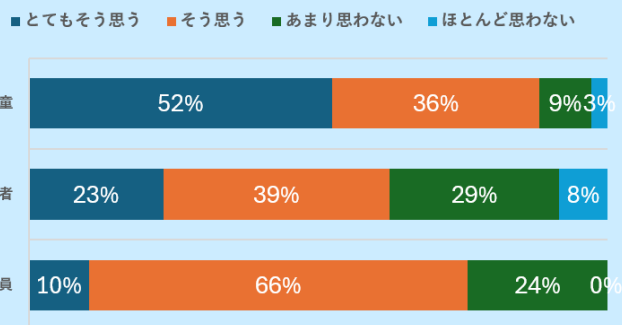


【考察】 児童は肯定的な回答の割合が高く、保護者・教職員評価も肯定的な回答が80%を超えており、児童は思いやりや優しさを意識して行動していることが分かります。今年度の永山西小では「授業を通した学級風土づくり」をテーマに、支持的な風土の醸成や対話・学び合いを大切にした授業づくりを意識しています。その取組の成果だと考えています。

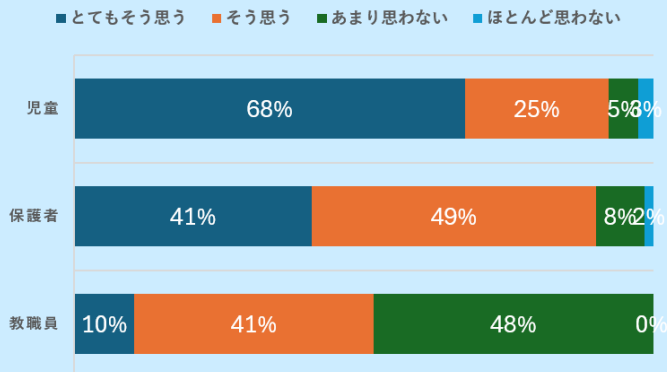
挨拶や言葉づかいについては、保護者・教職員の評価は低くなっていますが、児童の肯定的な回答は8割を超えています。2学期以降も、言葉づかいや態度が相手に与える印象について指導しながら、自己存在感等を育むコーチングを行い、優しさを形にできる西っ子の育成を目指していきます。

重点目標3『健康維持や体力向上、安全な生活のために主体的に行動できる子どもの育成』に関する結果

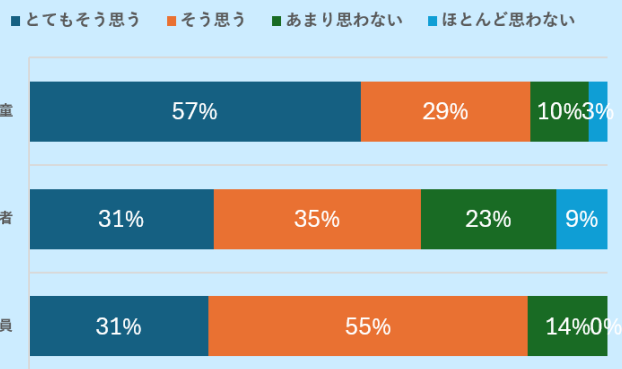
評価指標① 健康な体をつくろうと 日常から基本的な生活習慣を意識し て取り組んでいますか。



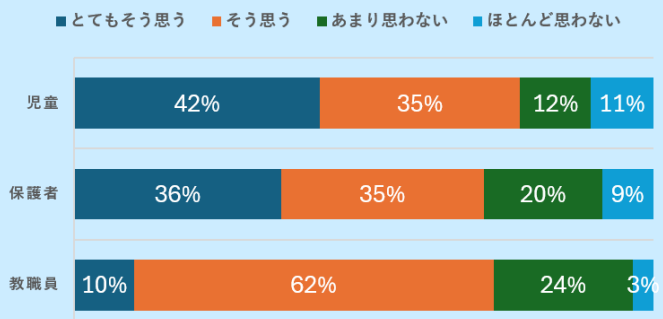
評価指標④ 自他の安全に気を付けて 生活していますか。



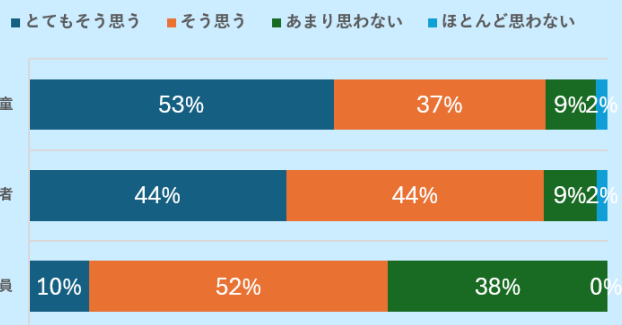
評価指標② 仲間とともに進んで運 動に取り組んでいますか。



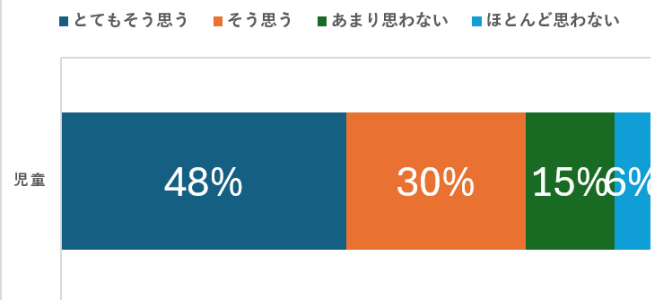
評価指標⑤ 自分の健康について考 え、好き嫌いしないで給食を食べて いますか。



評価指標③ 集団のルール（学校の きまりや交通ルール等）を守って行 動していますか。



早寝・早起き・朝ご飯を意識している



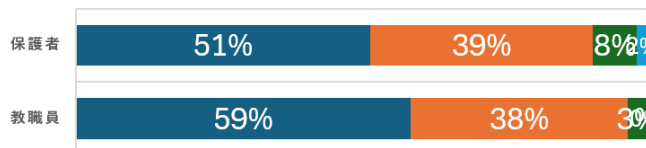
※児童アンケートより抜粋

【考察】 指標③「ルールを守る」については88%という高い結果となりました。西っ子見守り隊やご家庭と協力した安全指導の成果だと考えます。また、指標④「安全意識」についても児童・保護者ともに肯定的な回答が90%を超えています。子どもたちの生活習慣の向上は落ち着いた行動や学習態度につながると考えます。今後も「生活プランニング・チェックシート」の実施など、ご家庭に協力していただく取組が予定されています。特に「早寝早起き朝ご飯」の定着は、生活リズムが整い1日を元気に過ごす基本となります。今後も「早寝早起き朝ご飯」を大切にするようご家庭での声掛けをお願いします。

「家庭、地域との連携」に関する結果

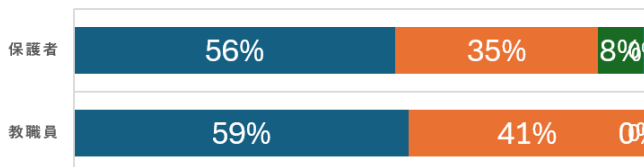
①学年・学級通信、学校便り等で教育活動の様子や必要な連絡事項を保護者に伝えていますか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■ほとんど思わない



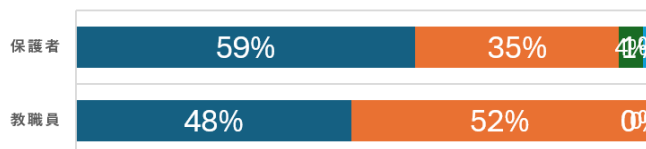
②運動会などの学校行事や参観日、個人懇談などを通して子どもたちの成長の様子を保護者に伝えていますか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■ほとんど思わない



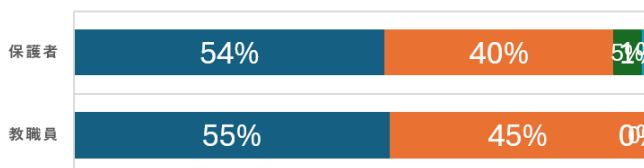
③朝の交通安全指導をはじめ、PTA活動を通して、保護者と協力して教育活動を推進していますか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■ほとんど思わない



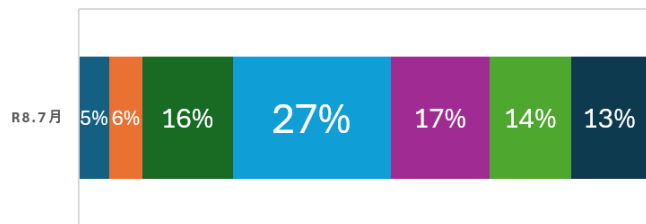
④学校は、様々な学習活動や行事等を通して、地域と共に連携・協力しながら教育活動を推進していますか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■ほとんど思わない



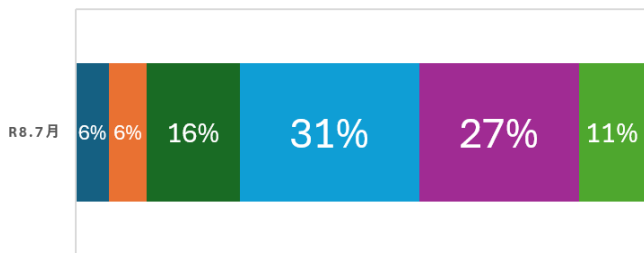
1日あたりの動画視聴時間

■4時間以上 ■3～4時間 ■2～3時間 ■1～2時間
■30分～1時間 ■～30分 ■全く見ない



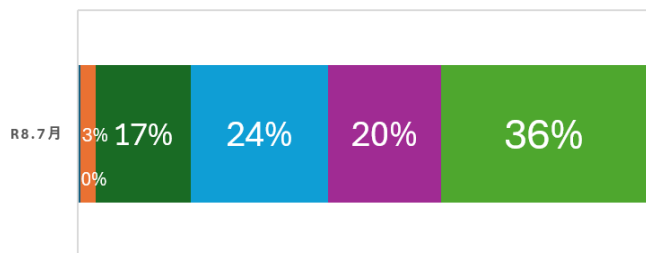
1日あたりのゲーム時間

■4時間以上 ■3～4時間 ■2～3時間 ■1～2時間 ■～1時間 ■全くしない



1日あたりの読書時間

■2時間～ ■1～2時間 ■30分～1時間 ■10～30分 ■～10分 ■全く読まない

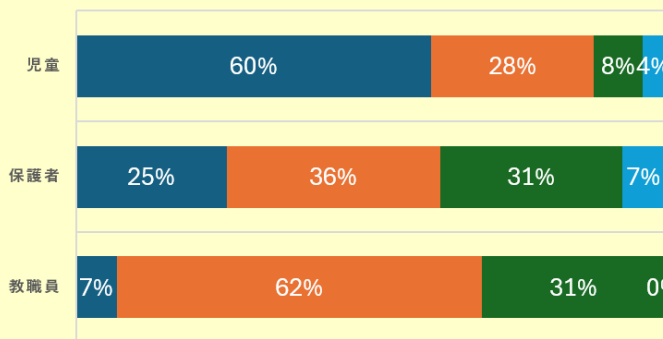


【考察】 「情報発信」「学校行事・参観日」「PTA活動」「地域との連携」のすべてで肯定的な回答の割合が90%以上という高い結果となりました。今年度も家庭・地域のご協力を得ながら教育活動を推進できている成果だと考えています。日ごろの学校教育へのご理解とご協力に改めて感謝いたします。また、一日あたりのゲーム時間が1時間を超えている児童が約6割、動画視聴時間が1時間を超えている児童も半数以上となっていました。「読書時間の延長」「家庭での学習時間の確保」は「ゲーム・動画視聴時間の短縮」につながると考えます。スマートフォンやタブレット端末は便利さの反面、依存性や中毒性のあるアプリ・コンテンツにアクセスしやすいという側面もあります。改めて、自宅での使用状況の把握とルールや使用時間を子どもたちと話し合っていきたいと思います。

『学校目標・学校課題』に関する結果

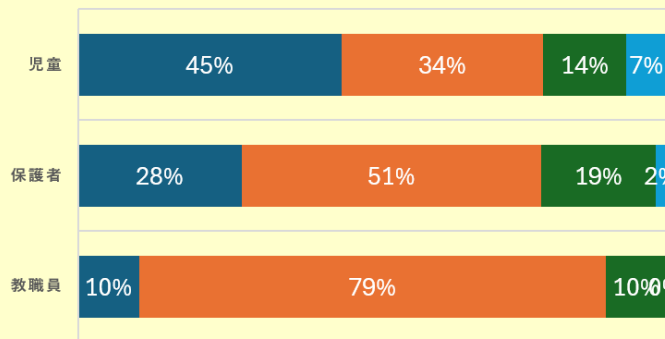
児童は、自分の目標や夢をもってがんばっていますか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■ほとんど思わない



児童は、自分にはよいところがあると思っていますか。

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■ほとんど思わない



【考察】 学校目標「夢をもってがんばる子ども」に関しては、保護者の肯定的な回答が61%という結果となりました。児童は88%が肯定的に答えています。本校の教育活動の根本的なねらいとして、今後も子どもたちが向上心をもって活動できることを重視し、目標や夢に向かって頑張る態度の育成を継続していきます。

「自己肯定感」に関しては児童・保護者の肯定的な回答がともに79%という結果となりました。「自分自身を認める思い」は、よりよく生きようとする根本にもなる思いであることを再確認し、子どもたち一人一人がよさや可能性を発揮できる場面を意図的・計画的に位置付けていくことを継続していきます。

「記述欄」に関して

アンケートへのご協力ありがとうございました。頂戴いたしましたご意見を真摯に受け止め、西っ子のよりよい成長のために、今後も学校運営の改善を推進していきます。また、教職員・学校への励ましのお言葉も多く、教職員一同、大きな励みとなりました。

お寄せいただいたご意見を、2学期以降の諸会議や学年等の打合せの中で検討していきます。多角的な視点から検討し、見直しが必要な事柄については、改善に努めていきます。

また、見直しや改善を図ったことについては、その都度、保護者の皆様に「学校だより」などを通じて、お知らせしていきたいと考えています。

今回いただいた主なご意見内容

- 運動会の競技内容・競技数について
- 次年度の運動会の観覧席について
- 行事の開催日程について
- タブレットの活用について
- 教室の雰囲気について
- 教育活動・PTA活動への感謝について

複数の方からご意見をいただいた点に絞って記述欄への回答をさせていただきます。ご承知おきください。なお、個人的に回答を必要とされる場合は学校（48-1042 担当：小川）までご連絡ください。

～記述欄より～

「運動会の種目」について

<回答>

運動会に関わる記述の中で「種目数・種目内容」に関わるご意見が寄せられました。日程や児童の体力的な負担を鑑み、種目については各学年徒競走を含めた2種目に取り組んでいます（高学年のみ伝統種目として西っ子ソーランあり）。これ以上の種目数増となると運動会練習も含めて日程が過密になり、児童への負担が増すことが考えられます。また、内容についても児童が見通しをもって安心して活動できるよう、大幅に変更しないように配慮しています。選拔リレーについては複数年にまたがっているため、学年をまたいだ練習時間の確保が難しいのが現状です。また、運動会全体を通して、学年全体での競技に注力し、まとまりや一体感深めることを目標としていますので、実施を見送っています。

「プール開放」について

<回答>

夏休みのプールの開放を希望するご意見をいただいています。学校だより5月号でもお知らせしておりますが、プール管理員は、水質の管理や浄化装置の操作といった「環境整備」を専門に行っています。管理員が一人で児童への指導や監視を兼務することは困難であることから、安全を十分に担保できないと判断しています。子どもたちの安全を最優先に考え、今年度のような運用となっておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。